



Cisco CGS 2520

クイック スタート ガイド

- [このガイドについて](#)
- [梱包内容](#)
- [Express Setup の実行](#)
- [スイッチの管理](#)
- [スイッチの設置](#)
- [電源の配線](#)
- [スイッチ ポートの接続](#)
- [トラブルシューティング](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)

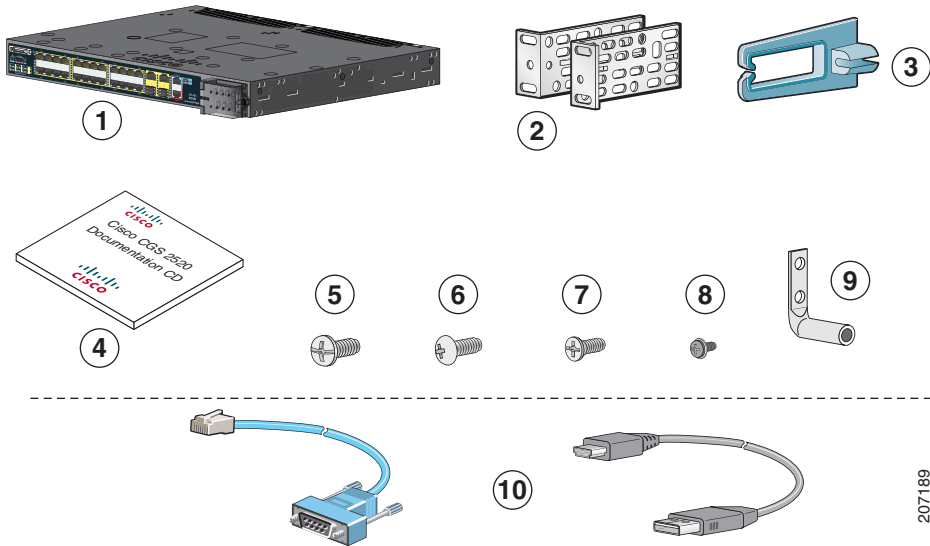
このガイドについて

このガイドでは、Express Setup を使用して Cisco Connected Grid Switch (CGS) 2520 を初めて設定する方法について説明します。また、スイッチ管理オプション、ラックの取り付け、配線手順、ポートとモジュールの接続手順、トラブルシューティングについても説明します。

スイッチ設置および設定に関する詳細については、Cisco.com に掲載されている Cisco CGS 2520 ドキュメンテーションを参照してください。また、システム要件、重要な注意事項、制限事項、未修正および修正済みのバグ、ドキュメンテーション最終版に含まれていない更新情報などについては、Cisco.com で提供されているリリース ノートを参照してください。このマニュアルに記載されている警告の各国語版については、ドキュメンテーション CD の『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco CGS 2520』に記載されています。また、このドキュメンテーション CD には製品の保証に関する情報も含まれています。

オンラインマニュアルの使用時には、スイッチで実行している Cisco IOS ソフトウェアのバージョンと一致するドキュメントを参照してください。

梱包内容



1	Cisco CGS 2520 ¹	6	No.12 のトラスヘッド ネジ×4
2	19 インチ用マウント ブラケット×2	7	No.8 のフラットヘッド ネジ×6
3	ケーブル ガイド	8	黒の小ネジ×1
4	マニュアル	9	2 穴アース ラグ
5	No.8 の小ネジ×4	10	コンソール ケーブルまたは USB ケーブル ²

- ここに表示されているモデルはシスコ CGS-2520-24TC です。スイッチのモデルによっては外観が異なる場合があります。
- 発注できます。



(注)

これらのアイテムがすべて揃っていることを確認してください。不足または破損しているアイテムがある場合には、購入された代理店に連絡してください。

Express Setup の実行

Express Setup を使用して、初期 IP 情報を入力します。これにより、IP アドレスを使ってスイッチにアクセスし、詳細設定できるようになります。



(注) CLI ベースの初期セットアッププログラムを使用するには、スイッチハードウェアガイドの付録 C 「Configuring the Switch with the CLI Setup Program」を参照してください。

次の装置が必要です。

- Windows 2000、XP、Vista、Windows Server 2003 のいずれかがインストールされた PC
- JavaScript が有効になっている Web ブラウザ（Internet Explorer 6.0、7.0、Firefox 1.5、2.0、またはそれ以降）
- カテゴリ 5 または 6 のストレートまたはクロス ケーブル



(注) Express Setup を実行する前に、ブラウザのポップアップブロッカーやプロキシ設定、および PC で実行しているワイヤレス クライアントをディセーブルにします。

ステップ 1 スイッチに何も接続されていないことを確認してください。

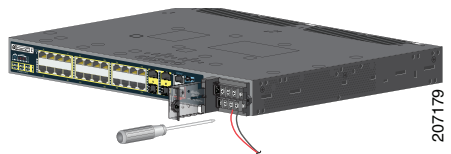


ステップ 2 Express Setup の実行中、スイッチは DHCP サーバとして動作します。PC に固定 IP アドレスが設定されている場合は、DHCP を使用するように PC を一時的に設定してください。

注 固定 IP アドレスを書き留めておきます。このアドレスは手順 13 で必要になります。

ステップ 3 スイッチの電源入力ターミナルにワイヤを接続します。

AC または DC 電源接続の手順については、「[電源の配線](#)」(P.19) を参照してください。



ステップ 4 スイッチに電源を入れてから約 45 秒後に、Power-on Self-Test (POST; 電源投入時セルフテスト) が開始します。POST には最大 5 分かかることがあります。

POST 中は、システム LED がグリーンに点滅し、ポート LED がグリーンに点灯したままになります。

POST が完了すると、システム LED はグリーンに点灯したままになり、他の LED は消灯します。

トラブルシューティング

システム LED がグリーンに点滅したり、グリーンにならなかったり、オレンジになったりした場合は、製品の購入代理店まで問い合わせてください。スイッチの POST の結果がエラーです。

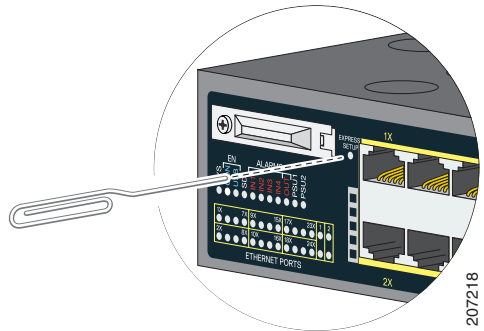
ステップ 5 ペーパークリップなどを使用して、くぼんだ Express Setup ボタンを押します。

3 秒間押し続けることが必要である場合があります。

Express Setup ボタンを押すと、スイッチの 10/100 イーサネット ポートの LED がグリーンに点滅します。

トラブルシューティング

スイッチのポート LED がグリーンに点滅しない場合は、手順 1 ~ 5 を繰り返します。スイッチハードウェアガイドで説明されているセットアッププログラムを使用することもできます。



ステップ 6 カテゴリ 5 または 6 のケーブルを、点滅している 10/100 イーサネット ポートに接続します。

ケーブルのもう一端を PC のイーサネット ポートに接続します。

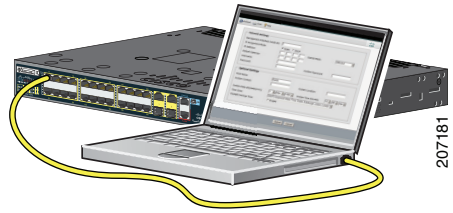
スイッチと PC またはラップトップ コンピュータのポート LED がグリーン（点灯または点滅）になるまで待機します。LED がグリーンの場合は、無事接続されたことを意味します。

トラブルシューティング

約 30 秒経過してもポート LED がグリーンにならない場合は、次の項目を確認してください。

- イーサネット ケーブルが、点滅している 10/100 イーサネット ポート（デュアルパーパス ポートなどのアップリンク ポートではなく）に接続されていること。
- カテゴリ 5 または 6 のケーブルを使用しており、そのケーブルが損傷していないこと。
- その他のデバイスがオンになっていること。

IP アドレス 169.254.0.1 に PING を実行して、接続を確認できます。



ステップ 7 PC でブラウザ セッションを開始し、Cisco.com などの既知の Web サイトを開きます。スイッチのデフォルトのユーザ名とパスワードを入力するように求められます。デフォルトのユーザ名とパスワード **cisco** を入力します。

[Express Setup] ウィンドウが表示されます。

トラブルシューティング

[Express Setup] ウィンドウが表示されない場合は、ブラウザのポップアップ ブロッカーやプロキシ設定、および PC やラップトップ コンピュータのワイヤレス クライアントがディセーブルであることを確認します。

The screenshot displays the Cisco Express Setup configuration interface, divided into two main sections: Network Settings and Optional Settings.

Network Settings:

- Management Interface (VLAN): 1
- IP Assignment Mode: Static DHCP
- IP Address: [][] . [][] . [][] . [][]
- Subnet Mask: 255.255.255.0
- Default Gateway: [][] . [][] . [][] . [][]
- Password: [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
- Confirm Password: [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

Optional Settings:

- Host Name: Switch
- Telnet Access: Enable Disable
- Telnet Password: [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
- Confirm Telnet Password: [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
- System Date (DD/MMM/YYYY): 11 / Sep / 2007
- System Time (HH:MM): 10 : 09 AM
- Time Zone: (GMT - 08:00) Pacific Time (US & Canada), Tijuana
- Daylight Saving Time: Enable

202341

ステップ 8 [Network Settings] フィールドに、次の情報を入力します。

注 情報はすべて英数字で入力する必要があります。

- [Management Interface (VLAN ID)] フィールドにデフォルト値の **1** を入力します。

注 デフォルトの VLAN 値を使用することをお勧めします。Express Setup の実行中、スイッチ上の VLAN は VLAN 1 だけです。スイッチを管理する管理インターフェイスを変更する場合に限り、新しい VLAN ID を入力します。VLAN ID の範囲は 1 ~ 1001 です。

- [IP Assignment Mode] フィールドでは、デフォルトの **[Static]** を使用することをお勧めします。これは、スイッチで割り当てた IP アドレスが常に使用されることを意味します。DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得するようにスイッチを設定するには、DHCP 設定を使用します。
- [IP Address] フィールドにスイッチの IP アドレスを入力します。
- [Subnet Mask] フィールドのドロップダウン矢印をクリックし、サブネット マスクを選択します。
- [Default Gateway] フィールドに、デフォルト ゲートウェイ (ルータ) の IP アドレスを入力します。
- [Switch Password] フィールドにパスワードを入力します。このパスワードは 1 ~ 25 文字の英数字で、数字から開始でき、大文字と小文字が区別されます。スペースを挿入できますが、最初と最後にスペースを入れることはできません。[Confirm Switch Password] フィールドにもう一度パスワードを入力します。

注 デフォルト パスワード **cisco** から、パスワードを変更する必要があります。

ステップ 9 ここで [Optional Settings] に入力するか、デバイス マネージャ インターフェイスを使用して後で入力します。

[Express Setup] ウィンドウで、その他の管理設定を入力できます。たとえば、オプションの管理設定によって、スイッチを特定および同期し、管理を拡張します。NTP によって、スイッチ クロックがネットワーク クロックと同期されます。システム クロック設定を手動で設定することもできます。

[Submit] をクリックして、変更内容を保存します。

[Express Setup] のフィールドの詳細については、[Express Setup] ウィンドウのオンラインヘルプを参照してください。

- ステップ 10** [Submit] をクリックすると、次のイベントが発生します。
- スイッチの設定が完了し Express Setup モードが終了する。
 - ブラウザに警告メッセージが表示されて、スイッチの以前の IP アドレスによる接続が試行される。設定されているスイッチの IP アドレスが、PC の IP アドレスとは異なるサブネット内にある場合は、通常、PC とスイッチ間の接続は失われます。
- ステップ 11** スイッチを PC から切り離し、ネットワーク内に設置します。「[スイッチの設置](#)」(P.13) を参照してください。
- ステップ 12** [ステップ 2](#) で PC の固定 IP アドレスを変更した場合は、これを以前の設定に戻してください。
- ステップ 13** スイッチの設定と管理については、「[スイッチの管理](#)」(P.10) を参照してください。
- デバイス マネージャを表示するには、次の手順に従います。
1. PC またはラップトップ コンピュータで Web ブラウザを起動します。
 2. Web ブラウザでスイッチの IP アドレス、ユーザ名、およびパスワード ([ステップ 8](#) で割り当てられたもの) を入力し、**Enter** キーを押します。デバイス マネージャのページが表示されます。

トラブルシューティング

デバイス マネージャが表示されない場合は、次の項目を確認します。

- ネットワークに接続されているスイッチ ポートの LED がグリーンであることを確認します。
- ネットワーク内の既知の Web サーバに接続し、スイッチへのアクセスに使用している PC やラップトップ コンピュータにネットワーク接続が設定されていることを確認します。ネットワーク接続が設定されていない場合は、PC やラップトップ コンピュータでネットワーク設定のトラブルシューティングを実行してください。
- ブラウザで入力したスイッチの IP アドレスが正しいことを確認します。
- ブラウザに入力したスイッチの IP アドレスが正しく、スイッチ ポートの LED がグリーンになっており、PC やラップトップ コンピュータにネットワーク接続が設定されている場合は、PC やラップトップ コンピュータをスイッチに再接続し、トラブルシューティングを続行します。スイッチの IP アドレスと同じサブネット内の PC やラップトップ コンピュータで、固定 IP アドレスを設定します。
- PC やラップトップ コンピュータに接続されているスイッチ ポートの LED がグリーンの場合は、Web ブラウザでスイッチの IP アドレスを再入力し、デバイス マネージャを表示します。デバイス マネージャが表示されたら、設定を続行できます。

スイッチの管理

Express Setup が完了してスイッチをネットワークに設置したら、以下の方法でその他の設定を実行できます。

- [デバイス マネージャ](#)
- [Cisco Configuration Professional](#)
- [コマンドライン インターフェイス \(CLI\)](#)
- [その他の管理オプション](#)

デバイス マネージャ

スイッチを管理する最も簡単な方法は、スイッチ メモリの中にあるデバイス マネージャを使用することです。この Web インターフェイスによって、設定をすばやく実行できます。デバイス マネージャは、Web ブラウザを使用することにより、ネットワーク上の任意の場所からアクセスできます。

1. PC またはワークステーションで Web ブラウザを起動します。
2. ブラウザにスイッチの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。デバイス マネージャのページが表示されます。
3. デバイス マネージャを使用して、スイッチの基本設定を実行します。詳細については、デバイス マネージャのオンライン ヘルプを参照してください。

Cisco Configuration Professional

Cisco Configuration Professional は、Cisco.com からダウンロードし、個人の PC で使用できる無料ソフトウェアです。このアプリケーションでは、Cisco CGS 2520 スイッチなど、複数のデバイスの設定とモニタリングを行う詳細オプションが提供されます。Configuration Professional は無料で、ダウンロード、インストール、使用に料金は一切かかりません。

手順は以下の通りです。

1. 次の URL に移動します。
<http://www.cisco.com/en/US/products/ps9422/index.html>



(注) アクセスするには Cisco.com に前もって登録する必要があります (これ以外に必要なアクセス権限はありません)。

2. [Download Software] をクリックします。
3. Configuration Professional インストーラの最新リリースを選択し、[Download] をクリックします。
4. Configuration Professional インストーラを実行し、画面の指示に従います。
5. [Finish] をクリックしてインストールを完了します。

詳細は、Configuration Professional の『Getting Started Guide』およびオンライン ヘルプを参照してください。

コマンドライン インターフェイス (CLI)

CLI を使用することにより Cisco IOS コマンドとパラメータを入力できます。CLI にアクセスするには、次のいずれかのオプションを使用します。

- スイッチの RJ-45 コンソール ポート
- スイッチの USB コンソール ポート

スイッチの RJ-45 コンソール ポート

1. RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを、PC の 9 ピン シリアル ポートに接続します。ケーブルの另一端をスイッチ コンソール ポートに接続します。
2. PC で、端末エミュレーション プログラムを起動します。
3. PC 端末エミュレーション ソフトウェアを、9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、フロー制御なしに設定します。
4. CLI を使用して設定コマンドを入力します。詳細については、『Software Configuration Guide』および『Command Reference』を参照してください。

スイッチの USB コンソール ポート

USB コンソール ポートを使用する場合は、USB コンソール ポートに接続している PC に Cisco Windows USB デバイス ドライバをインストールする必要があります。インストール手順については、スイッチのハードウェア インストールガイドを参照してください。

1. USB ケーブルを PC の USB ポートに接続します。ケーブルの另一端をスイッチのミニ B (5 ピン コネクタ) USB コンソール ポートに接続します。
2. PC で、端末エミュレーションプログラムを起動します。
3. PC 端末エミュレーションソフトウェアを、9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、フロー制御なしに設定します。
4. CLI を使用して設定コマンドを入力します。詳細については、『Software Configuration Guide』および『Command Reference』を参照してください。



(注) スwitchの RJ-45 コンソール ポートとスイッチの USB コンソール ポートを同時に使用して CLI にアクセスすることはできません。

その他の管理オプション

CiscoWorks LAN Management Solution (LMS) や Cisco netManager などの SNMP 管理アプリケーションを使用して、スイッチを設定および管理できます。また、Cisco netManager や SunNet Manager などのプラットフォームが稼働している SNMP 対応のワークステーションから、スイッチを管理することもできます。

Cisco Configuration Engine は、スイッチのソフトウェアに組み込まれた Cisco Networking Services (CNS) エージェントと連携するネットワーク管理デバイスです。これを使用することにより、スイッチの自動初期設定および設定更新を実行できます。

サポート ドキュメンテーションのリストについては、「[詳細情報](#)」(P.28) を参照してください。

スイッチの設置

ここでは、19 インチ用ラックの取り付け、配線手順、およびスイッチ ポート接続について説明します。図に表示されているスイッチ モデルは、Cisco CGS-2520-24TC です。Cisco CGS 2520 などのその他のスイッチも、ここで示す例と同じ方法で設置・接続できます。壁面への設置など、その他のスイッチ設置手順やケーブル接続情報については、スイッチのハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。

必要な器具

- 最大トルクが 15 インチ ポンド (in-lb) のラチェット式トルク フラットヘッド ドライバ
- リング、スペード、またはフランジ スペード 端子：
 - リング端子 (16–14 AWG 線の場合は Tyco 部品番号 2-34158-1、12–10 AWG 線の場合は 2-34852-1 など)
 - スペード端子 (16–14 AWG 線の場合は Tyco 部品番号 54367-2 など)
 - フランジ スペード端子 (16–14 AWG 線の場合は Tyco 部品番号 2-324165-1、12–10 AWG 線の場合は 1-324581-1 など)



-
- (注) IP-30 準拠の場合：
- AC または高電圧 DC 電源には 16 ~ 14 AWG 線および適切な端子を使用
 - 低電圧 DC 電源には 12 ~ 10 AWG 線および適切な端子を使用
-

- 圧着工具 (Thomas & Bett 部品番号 WT2000、ERG-2001 または同等品)
- 6 ゲージの銅製アース線 (Belden 部品番号 9902 または同等品)
- 低電圧電源モジュールには 12 AWG 線 (最小)、高電圧電源モジュールには 16 AWG 線 (最小)
- 電源の接続には、少なくとも定格温度 75° C (167° F) の銅線を使用
- UL および CSA 定格スタイル 1007 または 1569 ツイストペア Appliance Wiring Material (AWM; 機器用配線材) 銅線 (Belden 部品番号 9318 など)
- 6、10、12、14 および 16 ゲージの導線の被覆を剥がすためのワイヤ ストリッパ
- ラック組み立て用の No. 2 プラス ドライバ
- マイナス ドライバ

作業を開始する前に

スイッチを設置する前に、次の注意事項が守られていることを確認してください。

- ケーブル側または電源側に、LED を簡単に読み取れるようなスペースがもうけられていること。
- ケーブルはラジオ、電力線、蛍光灯などの電気ノイズの発生源から遠ざけて配線されていること。ケーブルは、損傷を与える可能性がある他の装置から十分に離して配置してください。
- スイッチの周囲および通気口を通過する空気の流れが妨げられないこと。過熱を回避するため、スイッチの上下には 4.4 cm (1.75 インチ) 以上のスペースを確保する必要があります。
- 装置周辺の温度が 60°C (140°F) を超えないこと。密閉式ラックまたはマルチラック アセンブリにスイッチを設置すると、スイッチ周辺の温度が通常の室温より高くなる場合があります。
- スイッチ周辺の相対湿度が 95% を超えない（結露しない）こと。
- 設置場所の標高が 3,049 m (10,000 フィート) を超えないこと。
- 10/100 および 10/100/1000 固定ポートの場合は、スイッチから接続先装置までのケーブル長が 100 m (328 フィート) 以内であること。
- Small Form-Factor Pluggable (SFP; 着脱可能小型フォーム ファクタ) モジュール接続のケーブル長については、Cisco.com で提供されているハードウェア インストールガイドと、モジュールのマニュアルを参照してください。

設置に関する警告

このセクションでは、設置に関する基本的な警告を説明します。警告の各国語版は、ドキュメンテーション CD に収録されている『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco CGS 2520 Switches』に記載されています。



警告

この装置は立ち入り制限区域内に設置することが前提になっています。立ち入り制限区域とは、鍵、錠、またはその他の保全手段を使用しないと入ることができないスペースを意味します。ステートメント 1017

**警告**

この装置の設置、交換、保守は、訓練を受け、適切な資格の持つ人によって実施される必要があります。ステートメント 1030

**警告**

システムが過熱状態にならないようにするため、最大気温が 60°C (140°F) を越える場所ではシステムを稼働させないでください。ステートメント 1047

**警告**

この装置は、「オープン タイプ」装置として提供されます。この装置は、特定の環境条件に見合い、また充電部への可触によって起こりうる怪我・傷害を防げるように設計された格納ラック内に設置してください。格納ラックの内部には、工具を使わないとアクセスできないよう配備してください。

格納ラックは、IP 54 または NEMA type 4 の最小限の格納ラック定格標準を満たしている必要があります。ステートメント 1063

**警告**

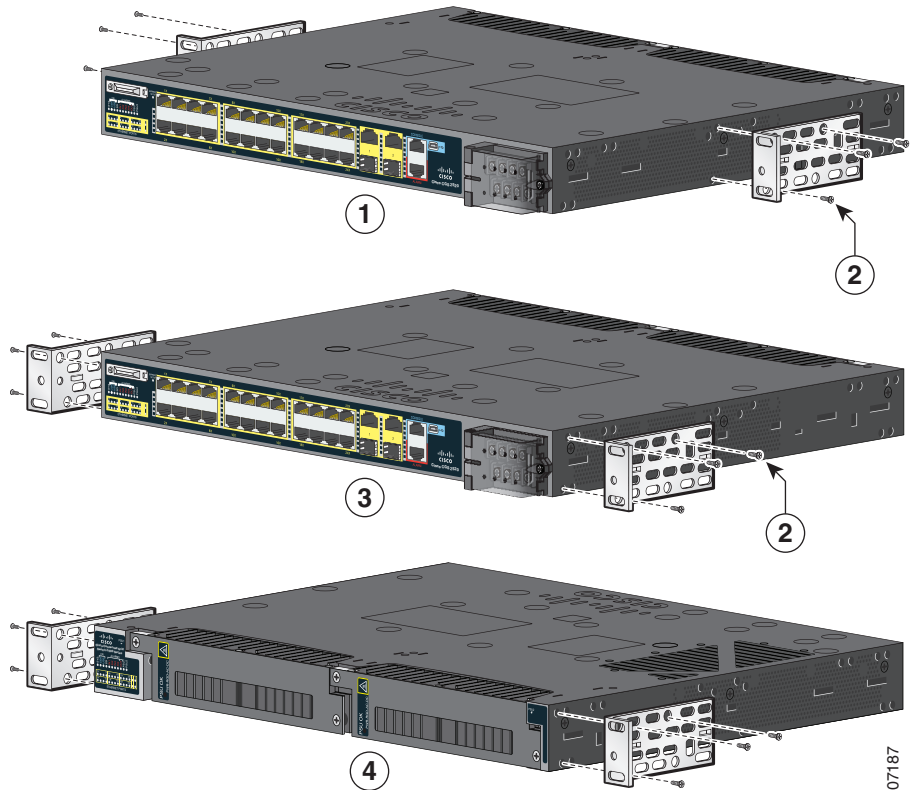
この装置の使用は、放射イミュニティ要件に適合するようにアースされていることが前提になっています。通常の使用時には、スイッチのアース ラグが確実に接地されていることを確認してください。ステートメント 1064

**警告**

空気の通りをよくするために通気口の周りに隙間を空けてください。
幅：4.4 cm (1.75 インチ) ステートメント 1076

ブラケットの取り付け

フラットヘッド ネジを 4 本使用して、スイッチの 3 箇所ある取り付け位置の 1 つにブラケットの長手方向を取り付けます。



207187

1	ミッドマウントの位置	3	ケーブル側取り付け位置
2	No.8のフラットヘッドネジ	4	電源側取り付け位置

スイッチの取り付け

No.12 の小ネジを 4 本使用して、ラックにブラケットを取り付けます。黒の小ネジを使用して、右または左のブラケットにケーブル ガイドを取り付けます。



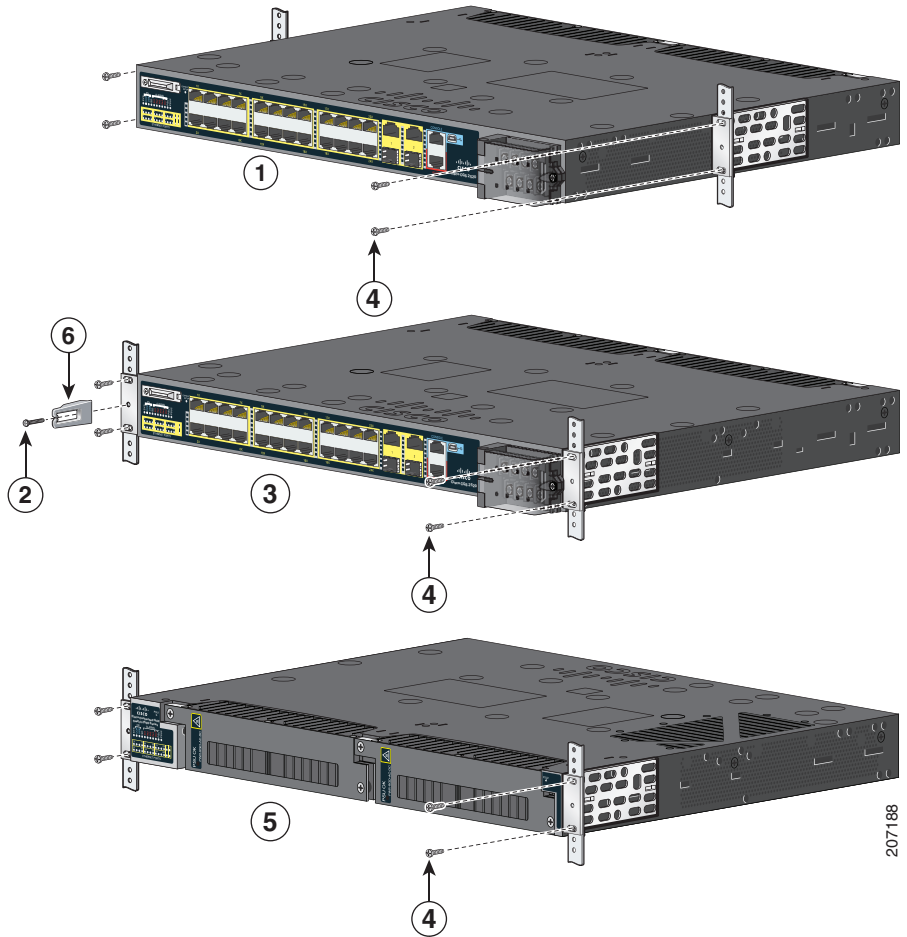
警告

この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、ブレがなく安定しているかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。

ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。

ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。ステートメント 1006



1	ミッドマウントの位置	4	No.12 の小ネジ
2	黒の小ネジ	5	電源側取り付け位置
3	ケーブル側取り付け位置	6	ケーブル ガイド

207188

電源の配線

スイッチには、次の電源モジュールをサポートするための 2 つの電源装置スロットがあります。

- PWR-RGD-LOW-DC：低電圧 DC (24 ~ 60VDC)
- PWR-RGD-AC-DC：高電圧 AC (100 ~ 240VAC) または高電圧 DC (100 ~ 250VDC)

スイッチでは、次の電源モジュールの組み合わせがサポートされます。

- 1 つの低電圧 DC
- 1 つの高電圧 AC または DC
- 2 つの高電圧 AC または DC
- 2 つの低電圧 DC
- 1 つの高電圧 AC または DC と 1 つの低電圧 DC

電源モジュールの装着の詳細および電源モジュールの仕様については、ハードウェア インストール ガイドを参照してください。

スイッチの接地

スイッチを保護アースに接続する手順は、次のとおりです。



警告

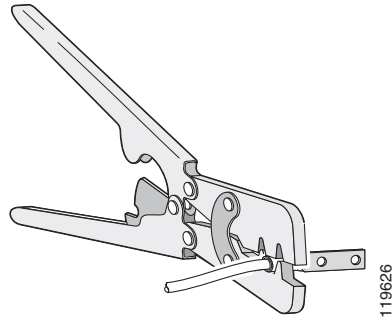
この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合は、電気検査機関または電気技術者に相談してください。ステートメント 1024

ステップ 1 標準のプラス ドライバまたはプラス ヘッド付きのラチェット式トルク ドライバを使用して、スイッチのケーブル側からアース ネジを外します。このネジは手順 4 で必要になります。

ステップ 2 6 ゲージのアース線の端から 12.7 mm (0.5 インチ) ± 0.5 mm (0.02 インチ) の部分を剥がします。

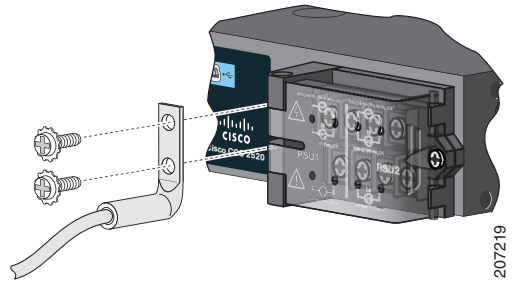


- ステップ 3** アース線をターミナル ラグに挿入し、端子を導線に取り付けます。



- ステップ 4** 手順 1 のアース ネジをターミナル ラグに差し込みます。

- ステップ 5** アース ネジをケーブル側のアースネジ開口部に挿入します。



- ステップ 6** ラチェット式トルク ドライバを使用して、アース ネジを 30 in-lb (± 2 in-lb) の力で締めます。

- ステップ 7** アース線のもう一端を、接地バスや接地されたベア ラックなどの接地された塗装されていない金属面に接続します。

電源への接続

電源コードを準備します。



警告

この装置には、複数の電源が接続されている場合があります。装置の電源を完全にオフにするには、すべての接続を切断する必要があります。ステートメント 1028



警告

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が以下の値を超えないことを確認してください。

AC: 5 A、DC: 15 A ステートメント 1005

ステップ 1 スイッチの電源入力ターミナルの位置を確認します。

電源入力ターミナル カバーに端子ネジのラベルが付いています。

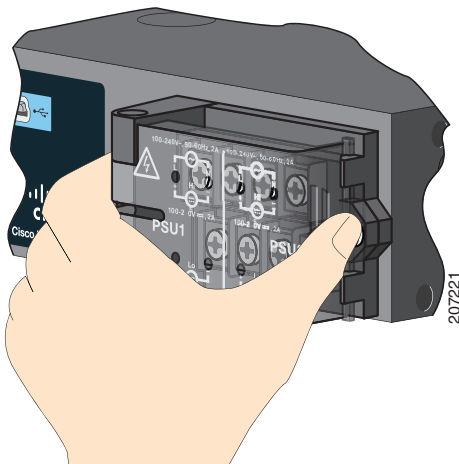
AC 電源：

ラインとニュートラルの AC 電源端子ネジを特定します。ライン端子ネジには **L** というラベルが付き、ニュートラル端子ネジには **N** というラベルが付いています。

DC 電源：


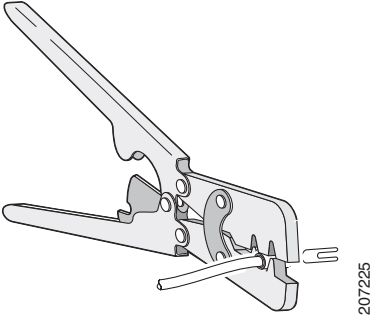
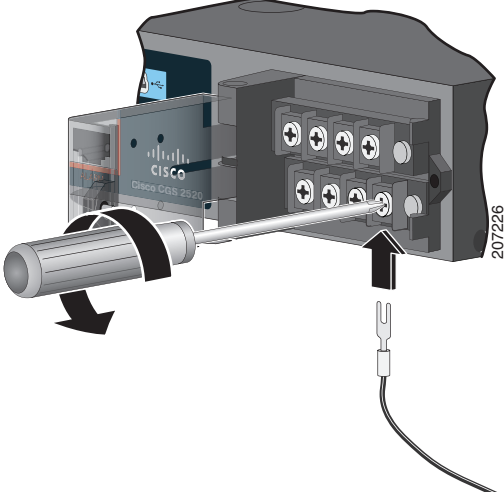
プラスとマイナスの DC 電源端子ネジを特定します。プラス端子ネジには **+** というラベルが付き、マイナス端子ネジには **-** というラベルが付いています。

注 電源モジュール 1 の端子ネジは **PSU1** というラベルの付いた側にあり、電源モジュール 2 の端子ネジは **PSU2** というラベルの付いた側にあります。導線を必ず正しい端子ネジに接続してください。



ステップ 2 AC/DC 回路ブレーカーの位置を確認してオフにし、テープでオフの位置に固定します。

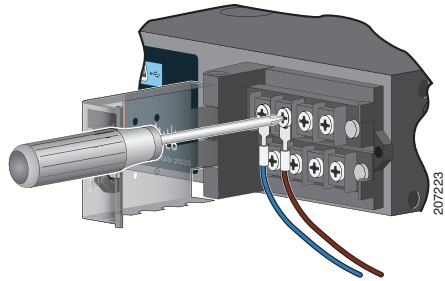
注 オン/オフ スイッチのある電源にスイッチを接続しないでください。

ステップ 3	プラス ドライバを使用して電源入力ターミナルの非脱落型ネジを緩めてカバーを開けます。	
ステップ 4	電源入力ターミナルを電源に接続するために十分な長さのツイストペア銅線 (14 ~ 20-AWG) を使用します。	
	注 低電圧 DC 電源モジュールには 12-AWG (最小) を使用し、高電圧 AC または DC 電源モジュールには 16-AWG (最小) を使用します。	
ステップ 5	2 本の各導線の端から 6.3 mm (0.25 インチ) ± 0.5 mm (0.02 インチ) の部分を剥がします。6.8 mm (0.27 インチ) を超える絶縁体を導線から剥がさないようにしてください。導線を推奨値以上剥がした場合は、設置後に、導線の露出部分がコネクタからはみ出る可能性があります。	
ステップ 6	導線をスピード端子に挿入し、スピード端子を導線に取り付けます。	
ステップ 7	端子ネジを緩めて、スピード端子をネジとワッシャの下に差し込みます。	
	注 高電圧 (AC または DC) と低電圧 (DC) のどちらの電源を使用するかに応じて、適切な端子ネジを使用してください。	

ステップ 8 AC 電源：

ライン線を **L** というラベルの付いた端子ネジに、ニュートラル線を **N** というラベルの付いた端子ネジに挿入します。

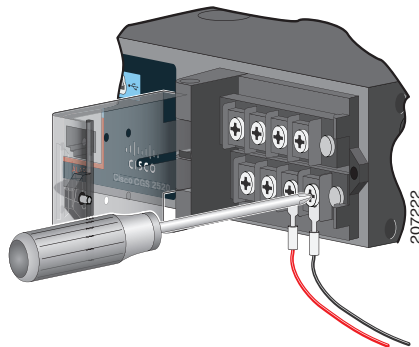
リード線が見えないことを確認してください。端子ネジから伸びる導線部分は、**絶縁体**で覆われている必要があります。

**DC 電源：**

プラス線を **+** というラベルの付いた端子ネジに、マイナス線を **-** というラベルの付いた端子ネジに挿入します。

リード線が見えないことを確認してください。端子ネジから伸びる導線部分は、**絶縁体**で覆われている必要があります。

注 低電圧 DC 電源モジュールを使用する場合は、導線を **Lo** というラベルの付いた端子ネジに接続します。高電圧 DC 電源モジュールを使用する場合は、導線を **Hi** というラベルの付いた端子ネジに接続します。



ステップ 9 非脱落型ネジ（取り付けたリード線の上）を 8.5 in-lb（± 0.5 in-lb）の力で締めます。

ステップ 10 AC 電源：

ライン線（**L** に接続した線）のもう一端を AC 電源のライン端子に接続し、ニュートラル線（**N** に接続した線）のもう一端を AC 電源のニュートラル端子に接続します。

DC 電源：

プラス線（**+** に接続した線）のもう一端を DC 電源のプラス端子に接続し、マイナス線（**-** に接続した線）のもう一端を DC 電源のマイナス端子に接続します。

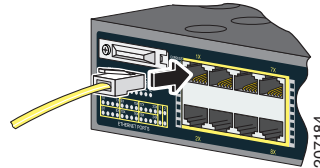
ステップ 11 スイッチをテストするときは、1つの電源接続で十分です。スイッチを設置し、2つ目の電源を使用している場合は、手順 3～10 を繰り返します。

ステップ 12 電源入力ターミナル カバーを締めます。ラチェット式トルク ドライバを使用して、6～8 in-lb の力でネジを締めます。

スイッチ ポートの接続

10/100 ポートまたは 10/100/1000 ポート

ステップ 1 サーバ、ワークステーション、IP Phone、ワイヤレス アクセス ポイント、ルータに接続する場合は、10/100 または 10/100/1000 ポートにカテゴリ 5 の 4 ツイストペア ストレート ケーブルを使用します。他のスイッチ、ハブ、リピータに接続する場合は、カテゴリ 5 の 4 ツイストペア クロス ケーブルを使用します。



ステップ 2 別の装置の RJ-45 ポートにケーブルのもう一端を接続します。

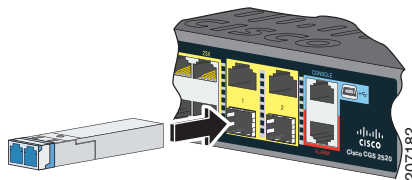
Cisco CGS-2520-16S-8PC の 10/100 ポートでは、Power over Ethernet (PoE ; パワー オーバー イーサネット) と Enhanced PoE (ePoE) がサポートされます。詳細については、スイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照してください。



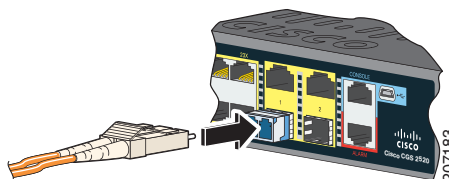
(注) デフォルトで Automatic Medium-Dependent Interface Crossover (Auto-MDIX) 機能がイネーブルに設定されます。スイッチは銅線イーサネット接続に必要なケーブルタイプを検知し、インターフェイスを設定します。接続先装置のタイプにかかわらず、スイッチの銅線 10/100/1000 モジュール ポートには、クロス ケーブルまたはストレート ケーブルのどちらでも使用できます。

SFP モジュールのポート

ステップ 1 モジュールの両側をつかみ、スイッチ スロットの奥にカチッとハマるまでモジュールを押し込みます。



ステップ 2 適切なケーブルをモジュールのポートに接続します。ケーブルの反対側を接続先装置に差し込みます。



サポートされるモジュールのリストについては、Cisco.com で提供されているリリース ノートを参照してください。SFP モジュールの取り付け、取り外し、接続についての詳細は、SFP モジュールのマニュアルを参照してください。

ポート接続の確認

スイッチのポートと別の装置を接続すると、スイッチがリンクを確立する間、ポート LED はオレンジに点灯します。このプロセスには 30 秒ほどかかり、その後 LED はグリーンに点灯します。ポート LED が点灯しない場合は、接続先装置が起動していない、ケーブルに問題がある、接続先装置のアダプタに問題があるといった理由が考えられます。

トラブルシューティング

Express Setup

Express Setup を実行できない場合、または Express Setup のページがブラウザに表示されない場合は、次の指示に従ってください。

Express Setup の起動前に POST が完了したことを確認しましたか。確認していない場合は、システムとポートの LED のみがグリーンに点灯していることを確認してから、Express Setup ボタンを押してください。

POST エラーは通常、修復不可能です。スイッチが POST にパスしなかった場合は、シスコのテクニカル サポート担当者までお問い合わせください。

スイッチが POST を実行している間に Express Setup ボタンを押しましたか。POST 実行中にボタンを押した場合、POST が完了するまでお待ちください。スイッチを再起動します。POST が完了するまで待ちます。システムとポートの LED がグリーンに点灯していることを確認します。Express Setup ボタンを押します。

PC に静的な IP アドレスが設定されていますか。設定されている場合は、DHCP を一時的に使用するように PC の設定を変更します。

イーサネット ケーブルを、スイッチ上の点滅している 10/100 イーサネット ポートではなく、コンソール ポートに接続しましたか。接続した場合は、スイッチのコンソール ポートからケーブルを取り外します。スイッチ上の点滅している 10/100 イーサネット ポートにケーブルを接続します。30 秒待機してから、PC でブラウザ セッションを開始します。

注 コンソール ポートの周囲は青、イーサネット ポートの周囲は黄色です。

スイッチと PC を接続した後、30 秒待機してから PC でブラウザ セッションを開始しましたか。待機していない場合は、30 秒待機してから PC でブラウザ セッションを開始します。

スイッチのデフォルト設定へのリセット

**注意**

スイッチをリセットすると、設定が削除されスイッチが再起動します。

1. Express Setup ボタンを約 10 秒間押し続けます。スイッチが再起動します。スイッチの再起動が完了すると、システム LED がグリーンに変わります。
2. Express Setup ボタンをもう一度 3 秒間押し続けます。スイッチの 10/100 イーサネット ポートがグリーンに点滅します。
3. 「Express Setup の実行」(P.4) の手順 6 ~ 13 に従ってください。

オンラインヘルプの利用

まず、Cisco.com で提供されているスイッチのハードウェア インストレーション ガイドまたはソフトウェア コンフィギュレーション ガイドのトラブルシューティング セクションで、解決方法を探します。シスコの Technical Support and Documentation サイトには、ハードウェアの既知の問題や、トラブルシューティングに関するさまざまなドキュメンテーションのリストがあります。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は Really Simple Syndication (RSS) フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

詳細情報

以下のドキュメントは Cisco.com から入手できます。

- 『Cisco CGS 2520 Hardware Installation Guide』
- 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco CGS 2520』
- 『Release Notes for the Cisco CGS 2520』
- 『Cisco CGS 2520 Software Configuration Guide』
- 『Cisco CGS 2520 Command Reference』
- 『Cisco CGS 2520 System Message Guide』
- 『Installation Notes for the Power Supply Modules for the Cisco CGS 2520』

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLYNX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2010 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.